

西丹沢自然教室～檜洞丸

参加者：MT、 TH、 NO

天候：曇り強風

コース：西丹沢自然教室8：35～42→ゴウラ沢出合9：38～9：46→檜洞丸12：33～13：15→ゴウラ沢合15：35～西丹沢自然教室16：20



自然教室前で支度をしながら、イガさんに教えてもらったキャンプ場からの新しい道で檜洞丸に向かう事を相談し歩き出す。取りつき点はすぐに解かったが、残念ながら先日の雨により通行禁止の張り紙有り。今回は諦めて本道に向かう。



歩き始めて30分ほどの辺りには、ミツマタの群生地が見られた。期待していなかったので凄く感激。しばらくは、ミツマタを鑑賞しながらルンルン気分でしたが、すぐに・・・。



○さん腰が痛いわけではありません。ざれた斜面を左手で木の根につかまって慎重に歩いているのです。足元の砂はザラザラ流れ動いています。もちろん、ほかの二人も同じ姿勢で歩きました。

もうすぐゴウラ沢出合です。道はどこまでも恐ろしげです。





この表示版の右手は広々とした河原です。写真を撮る事を忘れたのが残念です。暑い時の山行では、河原を吹き抜ける風に心地良さを感じることができると思います。私達も寒い中、腰を下してそれぞれにパンをかじりながら休みました。

ツツジ新道の取りつき地点です。強風の中、先が思いやられる登山道の始まりです。



2年ぐらい前に女性が滑落死した場所通過です。ピンクのテープに滑落現場と書いて有り木の根に結わえてありました。

登山道に残雪が凍って残っているところが現れ、あくまでも慎重に慎重に進む。





寡黙な3人は黙々と進む。
緊張を強いる場面が次々と現れる。
檜ボラってこんなだったかしらと記憶を辿る。思い出せない。少なくともこのコースは今回で5回目なのに思い出せない自分が悲しい。北東尾根、源蔵新道、つつじ新道と3コースから檜洞に登っているが、道としては一番危険度が高いと感じた。

岩をよじ登る。目の前には真新しい鎖が不気味に光っています。



木道が現れると山頂は真近です。この先の木道はコバイケイソウ保護のために有るようです。まだ、萌は見られませんでした。

酷い強風に煽られ髪は逆たち空に突き上げ、吹き飛ばされないように足を踏ん張りタイミングを計って足を動かし辿り着いた山頂でした。余りの強風に山頂にいることは出来ず、青ヶ岳山荘迄下り小屋内で昼食をとった。のんびり休んだ後、尾根筋を歩くことは危険とアドバイスを受けコースを変更し往路に戻る事にした。登山道は荒れていた。滑落現場の気の根に巻かれた2本のピンクのテープが悲しげに強風に音を立てていた。

